

目次

はじめに

3

第1章

解剖学をはじめよう

9

- それってどのタイプの解剖?
- 解剖学にもタイプがあつて
- テキスト ● 解剖学的正位、面、方向
- 剖出と予習
- メスを使うな、ハサミを使え
- 献体 ● 生命倫理と解剖学実習
- 体を支える骨格系
- 体を動かす筋系
- 体の情報担当の神経系
- 心臓血管系が血液を運ぶ

第2章

背 部

61

- 人体骨格標本
- 脊柱と胸郭
- 皮膚を剥ぐ
- 背部の筋は、上肢の筋と固有筋筋
- 脊柱管と脊髄と馬のしつば

- 上肢の骨格をみよう
- 筋膜と静注
- 三角筋と筋注
- 回旋筋腱板
- 神経の束—腕神経叢
- 上肢の深筋膜とコンパートメント
- 力こぶの筋
- 上腕三頭筋と橈骨神経
- 前腕の筋が多い
- 手を動かすたくさんの筋
- 脈をとる

第4章

人体発生のあらまし

157

- 配偶子から受精まで
- 細胞の運命がわかっていく
- ヒトの形になつていく

第5章

胸 部

173

- 胸郭は鳥かごのようだ
- 胸部の皮下は悩みのもど
- 胸筋とVAN
- 筋と呼吸を考えてみる
- 胸膜だけ、トボロジーって覚えてるかな？
- 胸腔は陰圧、腹腔は陽圧
- 胸壁を開ける
- 肺をみよう
- 心臓をみよう
- 縦隔

第6章

腹 部

243

- 腹部の骨格 ● 腹壁の目安 ● 腹部の皮下が気になつて ● 魅せる腹壁の筋
- 鼠径管の謎を解く ● 消化管と腹膜の発生 ● 腹腔をみていく
- 腹膜腔を巡る ● 腸を辿る ● 胃はバグバイプの形 ● 十二指腸は12指よりちよつと長め ● 脾臓は消化して中和して調整する ● 小腸の空腸と回腸
- 盲腸と虫垂 ● 腸の発生と動脈と神経と関連痛 ● 結腸の目安 ● 肝門脈
- 沈黙の肝臓 ● 腎臓と副腎 ● 副腎は付属品じゃない ● 腹大動脈と胸管
- 大腰筋と腰神経叢と横隔膜の穴

第7章

骨盤部・会陰部

319

- 骨盤は内臓と下肢の支え ● 会陰は「会陰」より広い ● 骨盤腔はヒトのはじまりと終わり

第8章

下 肢

357

- 下肢の骨格でロツク♪ ● モンロー・ウォークと殿部の筋 ● 大腿は3つに分けて ● 下腿の切れ上がりと泣き所 ● 足の中の手の名残り

頭頸部

393

- 頭蓋骨はパズル仕立て
- 頸はアタマと胴のツナギ以上
- 美人というも…
- 頭頸部は節だらけ
- 頭のない「サカナ」とヒトの頭
- 頭頸部の断面を見る
- 脳硬膜の内と外
- 眼に物見せられて
- 耳は聴いたり目を回したり

あとがき

430